

プレスリリース

ETAS、ESCRYPT CyscurFUZZ を発売：高速ファジングテストでサイバーレジリエンスを強化

- UN-R155 と ISO/SAE 21434 の要求事項を満たす自動車プロトコルに焦点
- 他社のツールに比べ 8.5 倍のスピードで、より多くの欠陥を検出
- 単体 ECU、複数 ECU の同時テスト（車両全体のファジング）、仮想 ECU のテストを開ループ／閉ループのセットアップで実施可能
- モジュール式アーキテクチャにより、自動化ワークフロー、CI/CD パイプライン、仮想プラットフォームに簡単に統合

ドイツ、シュトゥットガルト、2023 年 11 月 9 日 - ETAS の新しいファジングツール、ESCRYPT CyscurFUZZ は、ファジングテストにおいて画期的なスピードと高い欠陥検出率を実現します。本ツールはハイパフォーマンスと正確性を備えており、OEM、技術サービスプロバイダおよびサプライヤーが実施する自動車システムにおけるセキュリティ成熟度の評価を支援します。開発から妥当性確認（Validation）の全プロセスを通して製品のソフトウェア品質を向上させることができ、規制要件のコンプライアンスも保証します。

自動車システムの複雑化に加え、UN R-155、ISO/SAE 21434 などの国際規制に対応するため、サイバーセキュリティテストは自動車システムの開発と妥当性確認（Validation）に不可欠なステップとなっています。ファジングは業界では広く知られた確立されたテスト手法であり、ISO/SAE 21434 では自動車システムの堅牢性とサイバーレジリエンスの妥当性を確認し、弱点を初期段階で特定する目的で推奨されています。

ETAS がこのたび発売する自動車用ファジングテストツールの ESCRYPT CyscurFUZZ は、OEM やサ

サプライヤーが最新の規則や規格を満たすだけでなく、テスト手順をカスタマイズし、自動化し、高速化できるようにデザインされています。

ESCRYPT CyscurFUZZ を効果的に開発プロセスに組み込むことで、自動車メーカーもサプライヤーも、製品のソフトウェア品質とサイバーレジリエンスを初期段階で確実に改善していくことができます。

この新しいファジングツールは、物理 ECU・仮想 ECU を問わず、各種のテスト対象をサポートし、さまざまな **Hardware-in-the-Loop (HiL)** や **Software-in-the-Loop (SiL)** のセットアップで利用できます。また、最高レベルの欠陥検出率を、他のファジングテストツールを凌駕する実行速度で得ることができます。「**ESCRYPT CyscurFUZZ** は動的タイミングと自動例外処理により、既存の類似のソリューションの **8.5 倍のスピード** を達成した」と、**ETAS** の **Product Manager** を務める **Marcos Cardoso** は述べています。「検出する欠陥数は **66%~600%** も増加しており、自動車プロトコルの仕様を忠実に守ってテスト範囲を完全網羅し、予期せぬ応答が返ったときにも安定性を失わない」とも述べています。

ETAS について

1994 年に設立された **ETAS GmbH** は、ボッシュ・グループの完全子会社であり、欧州、北米、南米、アジアの **12 カ国** に海外営業拠点を展開しています。**ETAS** のポートフォリオには、ソフトウェアデファインドビークルを実現するための車載用ベーシックソフトウェア、ミドルウェア、開発ツール、クラウドベースのサービス、サイバーセキュリティソリューションおよびエンドツーエンドのエンジニアリング／コンサルティングサービスが含まれます。弊社の製品ソリューションとサービスにより、自動車メーカーやサプライヤーは、自社の独自性を活かした車両ソフトウェアを効率よく開発、運用、保護することができます。

さらに詳しい情報は www.etas.com を参照してください。

図：



テーマ画像：高度な自動車ファジングテスト

© Shutterstock.com | Ganesh Musuku, ETAS